

# 平成 31 年度教育研究

## 1. 研究テーマ

深い学びを実現させる「問い」の工夫

## 2. 研究内容

○主体的な学び、対話的な学び、深い学び について

- ・授業や単元で意図する育成したい資質・能力を明らかにし、主体的な学び、対話的な学び、深い学びを生み出すための「問い」の工夫を研究・検証する。
- ・新大分スタンダードと関連させ、問題解決的な展開の授業を基本とする。
- ・その単元で身に付けさせる資質・能力を明らかにした単元計画を作成する。
- ・評価規準となる具体的な生徒の姿を授業者が単元に入る前にもっておく。

○「問い」の工夫 について

- ・単元や授業のどの場面に、どのような「問い」を設定するのが主体的、対話的で深い学びを生み出すために効果的なのかを各教科で研究・検証する。
- ・「問い」の検証のために、質の高い振り返りを工夫する(三観点評価を意識する)。

## 3. 研究方法

○研究発表会（公開授業）を実施

国・社・数・理・英・体・技家は毎年 音・美は隔年（※今年度は音楽）

○研究計画（別紙 - ①）

基本的に月に 2 回、校内研修を実施（1 回は理論研、1 回は授業研） 教科研は随時

※ 授業日の 1 週間前に研究部と教科部会の合同指導案審議を行う

○提示資料

授業者は指導案（県教育委員会が提示したのものをもとにした本校の様式で、以下のものを明記する）を提出。

- ①その単元や授業における、主体的な学び・対話的な学び・深い学びを生み出すための「問い」
- ②単元指導計画を詳細にしたもの
- ③その授業または単元の中で育成したい資質・能力及び意図する深い学び

○教科部会

週に 1 度程度、定期的で開催する。教科主任が中心となって、教科の研究を進める。

大学の先生との連携し、指導案審議や資質能力・深い学びについて研修していく。

提案授業をする際は、教科部会で事前検討を行う。

## 4. 研究計画

期	月	研修	内容	
I	4	全体連絡会	研究テーマ提案・今後の日程、新大分スタンダード・指導案について	
II	5	理論研	「問い」の定義・研究の詳細 「総合」について	
		授業研	【理科】	
	6	授業研	【英語】	
	7	授業研	【美術】【総合①】【総合②】	
III	8	理論研・教科研		
	9	指導案審議		
		研究会準備		
		研究発表会	【 国・社・数・理・英・体・家・音 】	
IV	10	授業研	【国語】	
		FU研修	【社・数・技・体・家・音】	
		理論研	研究のまとめ～	研究紀要の執筆
V	11	授業研	【道徳】	
		授業研	【数学】	
	12	理論研	総括・次年度の研究テーマ	
VI	1	セミナー	外国語セミナー【英語】	研究紀要原稿提出
	2	理論研		完成版提出
	3			研究紀要の発刊